

沿革

- 昭和36年4月 長野県林業指導所 発足（塩尻市宗賀桔梗ヶ原の県営苗圃内）
庶務部、教育指導部、業務部、育種部、木材部、付属目立技術者養成所
- 昭和40年3月 高遠町に付属林業機械化指導所を設置
- 昭和41年3月 付属目立技術者養成所を廃止
- 昭和49年4月 付属林業機械化指導所を廃止
- 昭和63年3月 新施設建設に伴い、現在地に移転
- 昭和63年4月 長野県林業総合センターと改称
管理部、指導部、育林部、特産部及び木材部を設置
森林学習展示館及び緑の体験学習施設を併設
- 平成11年8月 「体験学習の森」 オープン



林業指導所（現中南信免許センター）（昭和36年～昭和63年）

案内図

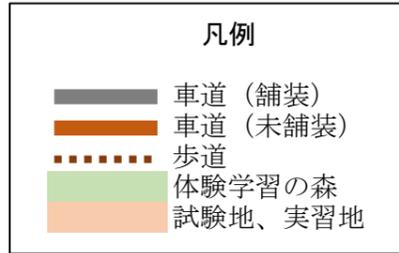


体験学習の森（森林体験学習館含む）以外（試験地、実習地、本館や試験棟等の建物）へは職員の許可なく立ち入らないでください。



[研修宿泊棟]
収容人数100名
研修生宿泊室12室（14畳）
食堂
炊事施設
浴室
トイレ（和式、水洗）

・本館は、構造材や造作材などに県産材が150m³使用されています（延べ床面積795m²）。
・一般的な木造住宅の2階建て、延べ床面積120m²では、23m³を使用。



長野県林業総合センターの紹介

- 広大な敷地面積とたくさんの施設を管理運営
- 規模 高低差110m
 - 敷地面積：約42.8ヘクタール（テニスコート2,139面分、東京ドーム9個分）
 - 建物延べ床面積：約5,800m²（28棟）、古さを感じさせない木造建築物
 - 位置（本館）
 - 住所：長野県塩尻市大字片丘5739番地（広丘駅から約5km、徒歩55分）
 - 標高：845m（R4現在の松くい虫被害ライン付近、広丘駅標高664.5m）
 - 職員数
 - 35人（うち管理部は所長含む6人）
 - トピックス
 - 木曾谷・伊那谷フォレストバレーの取組で重要な役割を担う
 - R5は年間4,100人日（体験学習の除く）の研修生を受け入れ
 - 開館（昭和63年）から36年が経過、設備機器の更新が課題
 - 塩尻市の松くい虫防除対策の方針に従い、標高850m以下のアカマツを伐採

木曾谷・伊那谷フォレストバレー

森林・林業・木工に関する教育機関や試験研究機関が隣接している木曾谷、伊那谷の特性を生かし、関係機関の連携による質の高い教育の提供と、知見を活かしたイノベーション創出を目指します。

木や森を活かす豊かな社会をつくるための知識・技術基盤が整った全国随一の地域

- ①木や森に関する学びや人材育成の拠点地域
- ②森林資源を活かしたイノベーションと雇用が生まれる地域
- ③これらが地域ブランドとして確立し、国内外の交流が生まれる地域

関係機関の連携による質の高い教育の提供と知見を活かした産業支援

森林・林業の学びのコース

- 林業大学校
- 木曾青峰高校
- 上松技術専門学校

産業人材の育成・輩出

- INADANI SEES
- 信州大学農学部

イノベーションの創出

メインプロジェクト

木と森の「人材育成・創業支援プログラム」の開発・実行

- ①移住や他産業からの転職を
見据えたリカレント教育
木や森の学びのプログラム
森林マイスターコース
ウディライフコース R6 先行実施
- ②多彩な発想を導く
森林ベンチャースクール
森林サービス産業の創業支援
交流会 セミナー
人材育成等
創業支援 伴走支援

関連プロジェクト

林業・木材産業の人材確保・育成につなげる木製品・DIYキットの開発

- ①新たな木製品の開発（調度品等）
- ②木製空間づくり
DIYキットの開発